

次世代を担うSC 経営者層の育成を目指す
SC 業界唯一のビジネススクール

SC ACADEMY

SCアカデミー

第16期生募集案内

2022年4月～2023年3月

◆受講のおすすめ

当協会は、1973年に設立以来、業界の人材育成に重点を置き、現在までセミナー、海外研修、通信教育などの各種プログラムを実施し、SC業界の人材育成に寄与して参りました。

2007年に次世代のSC経営者層の育成を目的として、SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただくためのプログラム「SCアカデミー」を創設し、これまでに552名が卒業されました。

現在15期生35名が在学中ですが、このほど第16期生の募集を行うことになりました。

なお、第16期(2022年度)よりオンラインを活用し、全国規模で遠隔地の方でも受講しやすい環境を整えます。

つきましては、貴社の次世代を担う人材の教育機関として、本SCアカデミーを活用していただけますようご案内申し上げます。

◆目的と特色

1. 次世代を担うSC経営者層の養成を目的とします。
2. SCを学術的・体系的に学び、SCの新潮流、将来動向についても理解を深めていただきます。
3. ワンウェイでなく、“考える力”をつける授業です。また、講師は各コースの指導教授の他に、各分野で活躍されているゲスト講師をお招きします。
4. 長期のプログラムですので、受講生相互の情報交換やネットワークづくりに役立ちます。

● SC序論 (合宿研修)

指導教授/小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内容と目的
4/14 (木)	1	合宿研修について	合宿研修の目的 他
	2	SC序論	調整中
	3	特別講義 I	調整中
	4	すべては頭脳に在る=脳髄思本主義の時代 -ニューロデザイン論序説-	心は、意識は、人間は、社会は、経済は、宇宙は、神は…すべての事象は、頭脳が担っている。
	5	環境革命の世紀	今世紀最大の課題である「環境」に対し、我々はどのような位置に立ち、何を考え、何をすべきなのか? 商業環境やSCを取りまく「環境」の様相を、歴史的・批評的・包括的に俯瞰しながら、このアポリアへの展望を示す。
	6	SCアカデミーを100倍楽しむ方法	問題意識の持ち方やグループディスカッションの意義など、受講のコツについてお話しします。
			交流会(夕食)
4/15 (金)	7	経済社会における小売商業の役割 (例年の内容に沿いながら、データをアップデートします)	①アフターコロナとニューノーマルの社会における商業施設の対応について ②家計消費構造の変化(アップデート) ③インバウンド戦略は、アフターコロナにて、いかに推進されるか? ④地域活性化における商業施設の役割(観光戦略を含めて) ⑤リアル商業としての次世代SCの姿は? Eコマースの進展やシェアリング、サブスク、レンタルなどの新ビジネスモデルの中で、いかにリアルの施設が勝ち抜いていくのか?
	8	特別講義 II	調整中
	9	SCのリポジショニング	SCは変革期にあるという認識のもと、新たな役割やビジネスモデルの見直しを考察していく。
	10	グループディスカッション	グループに分かれ、与えられたテーマ、課題についてグループ内でディスカッションを行い、まとめ発表する。
	11	総 括	合宿研修のまとめと今後の研修への期待

● SC総論 I

指導教授/望月 照彦 構想博物館 館主・多摩大学 名誉教授・エッセイスト

日程	単元	課 目	内容と目的
4/22 (金)	1	なぜいま、人生や経済活動に「哲学」が問われるのか	脳を追い込む。
5/13 (金)	2	ライフリアリズム(現実社会試行)が何よりも先端的に面白い	将棋の藤井聡太君からなぜ目が離せないのか。
5/20 (金)	3	地球生命系とエコロジカルエコノミーの運命	生命の持続性と経済の非連続性が、鍵となる。
5/27 (金)	4	テンボロジー入門=キャピタリズムからショピタリズムへ	「店舗」は社会共通資本だ。
6/3 (金)	5	田舎の万屋が世界企業になるための UX(ユニバーサル・トランスフォーメーション)手法	資本主義を乗り越え、試本主義が現れる。
6/10 (金)	6	生き延びるためのセルフライフマネジメントは可能か=グループワーク	会社でも、社会でも君は自由自在に生きられるか。 —講師の先生方とアカデミー生との創論—

● SC総論 II

指導教授/彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員

日程	単元	課 目	内容と目的
6/17 (金)	1	エリアマネジメントの現代的位相	<スクール形式> 街とSCの再生を国内外の先進的事例を中心に紹介しながら、その方策、キーワード、意味、課題などを包括的に分析し、都市事象のデータ化や可視化、さらにその言語化の重要性、そして実験的なマネジメント推進方法を展開する。
6/24 (金)	2	ランドスケープとSCの相互交通	<スクール形式> 庭園の構成手法からランドスケープの概念、ランドスケープと都市創造・地域創造の問題を紹介するとともに、今後重要になるSCにおけるランドスケープ価値やランドスケープ的視野の可能性、景観創造、まちづくり、エコロジーの実践的展開を考察する。
7/1 (金)	3	リベラルアーツ的にSC問題を考える	<クロストークディスカッション形式> リベラルアーツ的思考や着想がなぜ重要なのか、それがSCを考えるときの視界をどのように広げていくのか、受講生参加型でこの問題を追究する。
7/8 (金)	4	SC・グリーン・映画	<スクール形式> SCの父と言われるヴィクター・グリーンの足跡、その思想と方法、現代におけるレガシーを紹介しつつ、映画と都市の相関性やSCをめぐる文化的問題を、歴史的横断性をもちながら考察する。
7/15 (金)	5	集客装置としての商業環境	<スクール形式> 集客や滞留、さらには顧客・参加者の支持を得るイベント創造の歴史的・同時代的な事例、その制作論、現代における展開、そして地域創生との関係などにフォーカスを当てながら、商業環境の魅力やレジリエンスを高めるあり方について深耕する。
7/22 (金)	6	SCにおけるイノベーション	<パネルセッション形式> SCにおけるイノベーションを、講師を含めた先端的に活躍されているパネラーを招聘して、受講生参加型のセッションを展開する。合わせて、総論IIの総括も行う。

● SC 経営実践論

Curriculum

指導教授/矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
8/26 (金)	1	SCのビジネスモデルと事業収支計画	SCの経営戦略、長期計画から年度予算まで、事業収支計画の立て方、事業性評価などの手法を学ぶ。
9/2 (金)	2	SCにおけるプレイスメイキング	居心地の良い場所、交流が促進される場、体験価値の提供などプレイスメイキングの手法を学ぶ。
9/9 (金)	3	地方商店街の活性化事例から学ぶ	商店街の再生を参考とするSCの再活性 地方商店街の活性化事例を学び、SCにも活かせるヒントを学ぶ。
10/7 (金)	4	SCの再生とバリューアップ	●商業施設のバリューアップ策 ●アセットマネジメント視点からの具体策
10/14 (金)	5	海外先行事例から学ぶ新たなSC開発 ー デジタルとSC ー	デジタル時代のSC開発、運営。空間やデザインなども含め、ネットにはかなわないリアル の場づくりを探る。
11/4 (金)	6	リテラーの変化と SCの新たなパートナー探し	スタートアップ系リテラー、ポップアップショップなど成長が期待できるパートナーを知 る。
11/11 (金)	7	まとめ ー 次世代SCの仮説づくり ー	グループ別ディスカッションとプレゼンテーション

● 特別演習

Curriculum

指導教授/太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役(SC経営士)

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
9/30 (金)	1	特別演習Ⅰ <ケーススタディ> 「戦略策定のフレームワークを習得する」	事例演習を通じて、戦略策定のフレームワークを習得する。
10/28 (金)	2	特別演習Ⅱ <フィールドワーク> 「顧客に支持される商業施設に学ぶ」	顧客に支持されている商業施設を訪問し、フィールドワークを行う とともに、当該施設の関係者によるレクチャーを受ける。
11/18 (金)	3	特別演習Ⅲ <プレゼンテーション> 「顧客に支持される商業施設の要因」	フィールドワークにもとづいて、顧客に支持される理由を解き明かし、 チームによるプレゼンをしていただく。

● 特別講義

Curriculum

日程	単元	課 目	内 容 と 目 的
7/29 (金)	1	調整中	調整中
8/19 (金)	2	調整中	調整中

● ゼミ方式 (いくつかのグループに分ける)

Curriculum

日程	単元	内 容
8/5 (金)	1	卒論書き方講座、各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
9/16 (金)	2	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
10/21 (金)	3	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他
11/25 (金)	4	各コースのフォローアップ、卒業論文作成指導 他

※やむを得ない事由により、講師・時間割・講義内容等を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

◆第16期 SCアカデミー開催要領

1. 会場 (一社)日本ショッピングセンター協会(東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F)
2. 期間 2022年4月～2023年3月(授業は11月中旬まで実施予定)
3. 時間 金曜日 18:30～20:30 ※授業によって変更になる場合がございます
4. 受講料 440,000円(本体価格400,000円 消費税40,000円)
5. 対象 SC協会会員企業の中堅社員(SC事業に関連した職種で5年以上の実務経験を有すること)
6. 定員 40名(予定)

7. 担当指導教授(敬称略)

- SC序論(合宿研修/7単元) 小嶋 彰 (株)フロンティアリテール研究所 代表取締役 (SC経営士)
- SC総論Ⅰ(6単元) 望月 照彦 構想博物館 館主・多摩大学 名誉教授・エッセイスト
- SC総論Ⅱ(6単元) 彦坂 裕 (株)スペースインキュベータ 代表取締役・上海視覚芸術学院徳稲大師学院教授・日本建築家協会会員
- SC経営実践論(7単元) 矢木 達也 (株)ピーエーシー・アーバンプロジェクト 代表取締役社長 (SC経営士)
- 特別演習(3単元) 太田 巳津彦 (株)ワイ・キャップコンサルティング 代表取締役 (SC経営士)
- 特別講義(2単元)
- ゼミ方式(4単元)

8. お申し込み・お問い合わせ先

(一社)日本ショッピングセンター協会 教育研修部/與田・遠藤^{よでん}
 〒112-0004 東京都文京区後楽1-4-14 後楽森ビル15F
 TEL. 03-5615-8523 FAX. 03-5615-8539 E-mail. scac@jcsc.or.jp

9. お申し込み締切日 2022年1月31日(月) ※期日前でも定員に達し次第、締切とさせていただきます。

10. 受講申込者及びご担当者様へ

- 第16期(2022年度)よりリモート学習を取り入れた全国展開を実施いたします。原則としてリアル受講を推奨いたしますが、遠隔地などご希望の方はリモート受講も可能です。「SC総論Ⅰ・Ⅱ」「SC経営実践論」の最終回及び特別演習の現地視察は、原則会場への出席となります。なお、受講生の交流の機会の支援として希望者には宿泊費として年間4回、各回1万円を限度として、協会が補助いたします。
- 下記の受講申込書を提出後、①実務経歴書及び所属企業の推薦状と②1,200字程度の小論文(何を学びたいか、受講の目的)の提出をお願いいたします。受講申込者については、①実務経歴書、②小論文に基づいて、入学の審査を行います。審査の結果によっては、受講をお断りする場合がありますので、ご了承ください。審査結果は、2月の末にご連絡いたします。協会事務局より受講申込書を提出後に、①のフォーマットのデータをお送りいたします。①、②につきましては、2022年2月10日(木)までに必ずご提出願います。
- 開催期間中に受講生が何らかの理由で辞退されても、受講料は返金いたしませんので、ご了承ください。
- 本アカデミー修了者は、SC経営士二次試験が免除になります。

-----キリトリ線-----

<FAX:03-5615-8539> 與田・遠藤 行

SCアカデミー第16期受講申込書

企業名: _____ 担当者部署: _____ 担当者名: _____
 〒 _____ TEL: _____
 住所: _____ FAX: _____ E-mail: _____ @ _____

受講者名	部署・役職	E-mail
フリガナ		@
フリガナ		@

※振込銀行名: _____ 銀行 _____ 店から _____ 銀行(協会指定)へ _____ 月 _____ 日振込予定

個人情報の利用目的について

当協会は、今回取得します皆様の個人情報を主に「SCアカデミー」を実施するために利用します。その円滑な実施のために名簿を作成して、参加者や講師に配布します。詳細は当協会ホームページを参照ください。 <http://www.jcsc.or.jp/>